

I 日本史探究問題

A

(1) 応仁の乱	(2) 相国寺
(3) 山城の国一揆	(4) 嘉吉の変
(5) 『大内氏掟書』 (『大内家壁書』)	(6) 足利義視
(7) 一条兼良	

B

(8) 手賀沼	(9) 南鐐
(10) 八	(11) 寛永通宝
(12) 秤量貨幣	(13) 大目付

C

(14) (あ) 婦人参政権獲得期成同盟会	(14) (い) 加藤高明
(15) (あ) 学制	(15) (い) 6年間
(16) 職業婦人	(17) ※
(18) 1946年（昭和21年）	

※(17)は、設問に不備があり正解を導くことができない旨、大学から発表された。

Ⅱ 日本史探究問題

ア 一大率	イ 狗奴
ウ 白村江	エ 近江大津
オ 富本銭	カ 平城
キ 嵯峨	ク 文鏡秘府論
ケ 大友義鎮 (宗麟)	コ 天正遣欧
サ 家持 (家主)	シ 町法 (町掟)
ス 桂離宮	セ 数寄屋
ソ 水俣	タ 勝
チ 中曾根康弘	ツ 電電
テ M S A (日米相互防衛援助)	ト P K O 協力 (国連平和維持活動協力)

Ⅲ 日本史探究問題

A

ア 新井白石	イ 日本国大君	ウ 貝原益軒
エ 錦絵	(1) 主君に対する忠と父祖に対する孝	
(2) 武家諸法度	(3) 武断政治から文治政治に変わった	
(4) 保科正之	(5) 林子平	(6) 御蔭参り

B

オ 太政	カ 山県有朋	キ 帝国議会
(7) 大隈重信	(8) 国会期成同盟	(9) 内務
(10) (あ)伊藤博文	(10) (い)ロシア	(11) 台湾銀行
(12) 後藤象二郎		

C

ク 松方正義	ケ 地租改正	コ 農地改革
サ 敗戦	シ 引揚げ	ス 高度経済成長
(13) 自分の農地をもたないこと	(14) 西南戦争	
(15) ①	(16) 農村から都市へ	

IV 日本史探究問題

(1)

摂関家は天皇の外戚として、天皇が幼少の時には摂政、成人後には関白に就任し、天皇の後見人として政務を代行・補佐した。摂政・関白は官吏の任免権を掌握していたため、中・下級貴族は経済的に有利な受領などの官職を求めて摂関家に従属するようになった。国政は摂政・関白を中心に太政官の公卿により運営され、政策は天皇や摂政の決裁を経て太政官符などの文書によって命令されたが、次第に儀式や先例が重視されるようになった。

(200 字)

(2)

農村では、二毛作が普及して原料作物の栽培・加工が行われ手工業生産も増加した。これらの物資は各地の定期市で取引され、中央から商品を運ぶ行商人も現れた。京都・奈良などでは見世棚が出現し、商工業者のなかには座を結び販売などの独占を本所から認められたものもいた。遠隔地取引が活発化するなか、港湾では問丸が年貢や商品の輸送を担い、取引には米や宋銭が利用され貨幣経済が普及し、年貢の代銭納や為替の利用も広がった。

(200 字)